

募集とお願い

★次号の「表紙イラスト」のボランティアさん募集中!

イラストを描くのが好きな30歳未満のアマチュアのかた。YA小説の表紙っぽい絵や、中高生や若い人が好むタッチの絵柄で、「萌え」ていないモノクロのイラスト。作画サイズはB6サイズぐらい。四方が直線のもの。紙に手描き・デジタルどちらでも可。掲載の場合、薄謝として1000円分の図書カードを差し上げます。まずはご連絡ください。第1号の表紙イラストはmoehさんにご協力いただきました。

★「YA読書応援団」情報募集中!

YA(人・本)やYAの読書活動を応援しているグループ・団体を当会員が取材して、ニュースレターで紹介してゆきます。YA読書応援団と呼べる活動をされている方について、ぜひ情報をお寄せください。

★ニュースレター個人購読登録(送料+カンパ)

直接受け取りを希望されるかたは、購読登録にご協力ください。カンパ代含めて「2号」と「3号」分の送料として下記の口座に1000円ご入金の上、送付先の住所とお名前をお知らせください。1部ずつ郵送いたします。第2号は2019年夏ごろ発送予定です。2部以上ご希望のかたはご連絡ください。

★ニュースレター発行のためのご寄付のお願い

ニュースレターはみなさまからの寄付で作成、配布しています。印刷費用以上に送料や雑費などの経費がかかります。日本YA作家クラブの活動にご賛同いただける会員、非会員のみなさまに、ご協力をお願いします。お振り込み手続き完了後に必ずメールでご連絡ください。個人一口2000円～

銀行振り込みの場合

ゆうちょ銀行 ○二八店(ゼロ二八チ店)

普通0406075 名義YARC

郵便局からご送金の場合

番号10250-4060751 名義YARC

★ニュースレター配布協力のお願い

図書館や学校図書館の担当者、YAを扱う書店など、地域の読書活動に関わるかたの集まる勉強会や連絡会などで、ニュースレターの配布にご協力をお願いいたします。イベント名と必要枚数をご連絡ください。

ご協力ありがとうございました。

協力・加藤寛子、木村航、朽木祥、香坂直、神戸遥真、こまつあやこ、しんやひろゆき、たからしげる、長友恵子、野沢佳織、宮下恵菜(50音順 敬称略 2018年10月末まで)

編集アドバイザー・大江輝行

門田奈穂子(YARC)

校閲・神戸遥真 (敬称略)

編集後記

子ども/大人のほかにYAという言葉やYA向けの本があることをもっと知って欲しい! そんな思いで日本YA作家クラブが発足して、はや10年! 作家や翻訳家個人のボランティア参加による任意の団体のため、組織立った活動がなかなかできませんが、もっと多くの方にYAを知って欲しいし、日本YA作家クラブのことも知って欲しい。というわけで11年目の折り返しにニュースレターを創刊することとしました。「お気に入り調査隊」では2年以内にYAの新刊のある会員が「お気に入り」を紹介していきます。著者を知ること、本をより身近に感じていただきたいです。

この紙面や当会のサイトが、YA読書に関わるみなさまのお役に立てればと思います。図書館や学校などでの紙面の展示や閲覧も大歓迎です。

編集・デザイン 梨屋アリエ

に ほ ん わ い え - さ っ か く ら ぶ

日本YA作家クラブ

Newsletter

Vol. 1



イラスト moehさん

YAてつながろう!

CONTENTS

- ◆ 作家・翻訳家のお気に入り調査隊
- ◆ YA読書応援団!
- ◆ 「日本YA作家クラブ」会員のインタビュー、Webで公開中
- ◆ 募集とお願い

「日本YA作家クラブ」は、YA(ヤングアダルト)作品の作家と翻訳家の有志により2009年に発足しました。YA作品やYA関連の情報を、書店さんや司書さんや先生や読者の皆さんに広く提供することを目的とした、インターネット上でPR活動をする会です。

このニュースレターは、発足11年目を迎えた日本YA作家クラブが、皆様からの寄付で作成し、無料で配布しています。

目的は、

- (a) YAをPRする作家と翻訳家の会「日本YA作家クラブ」と、YA(ヤングアダルト)という言葉、概念を知っていただき、
- (b) 会員インタビューなどを掲載したウェブサイト <http://jya.iinaa.net> を案内すること。

対象は、

- (1) 子どもや若い人たちがYA書籍にふれる環境を整備できる立場にいる人——具体的には、公共図書館や学校図書館のスタッフ、教育・福祉関係者、書店員や本に関わりのある人、
- (2) その他、購読を希望する機関と個人 です。

に ほ ん わ い え - さ っ か く ら ぶ

日本YA作家クラブ

Newsletter

創刊号 2019年1月発行

代表世話人 金原瑞人 梨屋アリエ

お問い合わせはメールでお願いします。

jya.sakka@gmail.com

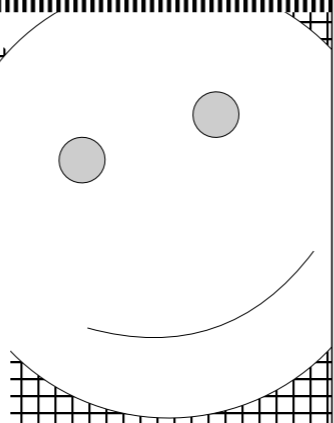
〒226-

神奈川県横浜市*****

「YARC」事務局 「日本YA作家クラブ」



日本YA作家クラブ



YAとは、若い大人を表すヤングアダルト Young Adultの略称で、ワイエーと読みます。「子ども」や「学年」の枠にとらわれない若い人向けの本をYAと呼んでいます。

作家・翻訳家の お気に入り 調査隊

その1 作家の 宮下恵菜さんの お気に入り、おしえてください！！

わたしのお気に入りは、10年以上愛用し続けているスケジュール帳です。数年前から、カバーを大好きなミナペルホネンのものになっています。手帳には仕事のスケジュールや家族の予定、観た映画や気になったフレーズ、立ち寄ったカフェの名前、ショッピングの記録などいる



んなことを書き留めています。生まれて初めてもらったファンレターもこの手帳に挟んで持ち歩いています。ほぼ毎日、ひととおり家事を済ませた後、まずこの手帳を開いて仕事のスケジュールを確認し、今日何をすべきかリストアップします。それからわたしの一日が始まります。大事なわたしの相棒です。

この手帳との出会いは、ショッピングモールで、『手帳で夢を叶えよう』というフレーズに引き寄せられるようにして手に取りました。当時のわたしは、三人の幼い娘たちを育てながら作家を夢見る主婦でした。嵐のような毎日の中、隙間の時間を見つけてせっせと原稿を書き賞に応募しては落選する日々を、なんとか打開したいと思っていたのです。

手帳には目標を書くページがありました。『賞を取り、作家デビュー！』そう書いたその年、わたしはとある賞をいただき、念願の作家デビューを果たすことができました。その後もなんとか作家を続けることができ現在に至ります。

今の自分がいるのはあの時のわたしががんばってくれたおかげ。この手帳を駆使して、今のわたしもがんばらなきゃ。未来のわたしにバトンを渡せるように。

宮下恵菜さんの

最近のYA作品のことも
おしえてください！！



『スマイル・ムーンの夜に』
(ポプラ社)

久々の単行本です。担当編集者さんが粘り強く待ち続けてくださったおかげでやっと形になりました。自分の居場所をなかなか見つけることができない四人の中学生たちの物語です。派手な事件は起きませんが、共感してもらえとうれしいです。

ありがとうございました！

お気に入り調査隊

その2 翻訳家の

原田勝さんの

お気に入り、おしえてください！！

わたしのお気に入りは、これ。そう、オートバイ。カワサキW400。排気量399cc、空冷4ストローク並列2気筒SOHC4バルブ、最高出力29ps、乾燥重量193kg……。わからないと思うけど、一応書いておく。

初めて乗ったバイクはホンダの50cc。下宿から大学へ通学するためだった。社会人になって中型免許をとり、四国にいる時はツーリングクラブにも入り、あちこち走った。子どもが生まれていったんバイクをおりたが、五十をすぎてまた乗りはじめた。

オートバイの魅力はいろいろ。風を感じて走れること（冬は寒いし、雨が降れば濡れるけど……）。車体を傾けて



曲がること（だから転ぶ……）。自分は若いと感じられること（体力の衰えは隠せないけど……）。ピカピカに掃除して自己満足にひたれること（時間がかかるんだな、これが）。うまく乗るには工夫や練習が必要なこと（もう、うまくはならない気がするが……）。

そして、ちょっと不良っぽく見えること。でもね、じつは、バイク乗りはみんな心やさしい。

こうして並べてみるとよくわかるが、オートバイは苦楽が表裏一体の乗り物で、そこが魅力。

危ないと思うかもしれないが、自分の技量をわきまえて乗れば、決してそんなことはない。乗ることそのものがおもしろいし、カッコつけて言えば、乗ると少しだけ自分が変わる乗り物なんだ。

原田勝さんの

YA作品のことも
おしえてください！！

『ウェストール短編集 真夜中の電話』
(徳間書店)

九つの作品を集めた短編集。

この中に「最後の遠乗り」という、オートバイに乗る若者たちの話がある。バイク乗りは大人になりきれない（なりたくない）人種だと思うが、そこが



とてもよく描かれている作品。

じつは、原作者ウェストールは、息子さんをオートバイ事故で亡くしている。なのに、バイク乗りの気持ちがちやんと書けているのは涙モノ。ぜひ読んでほしい！

ありがとうございました！



どんなときにアイデアがわきますか？

最初の本を出版したきっかけはなんですか？

「職業柄かも」と思うエピソードは？

「日本YA作家クラブ」会員の
インタビュー、Webで公開中
インタビューは「日本YA作家クラブ」サイトより
と明記があれば学校の図書便りなどに転載OK
<http://jya.iinaa.net>



2018年10月末までの会員（50音順敬称略）
石川宏千花、石飛千尋、大崎梢、大島恵真、香谷美季（篠原美季）、片川優子、風野潮、金原瑞人、河合二湖、如月かずさ、木村航、朽木祥、栗沢まり、香坂直、神戸遥真、越水利江子、後藤みわこ、こまつあやこ、三辺律子、鹿田昌美、篠原まり、新城カズマ、しんやひろゆき、代田亜香子、たからしげる、立原透耶、田辺千幸、中村浩美、梨屋アリエ、那須田淳、西田登、野沢佳織、花形みつる、原田勝、藤野恵美、誉田哲也、松山美保、宮下恵菜、森川成美、横山充男、寮美千子、令丈ヒロ子。



利用の際は必ず下記サイトを確認下さい。
www.bunka.go.jp/jiyuriyo

YA読書応援団！

第一回 取材・レポート 梨屋アリエ

このコーナーでは、YAやYAの読書活動を応援しているグループや団体をご紹介します！

第一回は、「バリアフリー読書サークルYAクラブ」様。一九九九年から活動をはじめたバリアフリー読書サークルYAクラブ（代表・上原喜美さん）は、視覚障害のある方と晴眼者が共にヤングアダルト向けの読書の楽しみを共有するための読書サークルです。文化庁から認められた活動として、録音図書（オーディオブック）制作や貸出をしています。

会員は現在八十八名、日本全国にいらつしゃいます。定例会、総会のほか、新年会やカラオケ会などの各支部でのイベントがあり、メールマガジンやLINEでも交流をしています。総会には、遠方の会員さんがノートパソコンからSkypeで参加されています。会員の年齢層は幅広く、学生、社会人、主婦の方も。点字は指で読みますが、音訳された録音図書は耳で読みます。これは演出や効果音などが入った市販のドラマCDとは別のもので、法改正により、オーディオブックのダウンロード利用が可能になりましたが、CDでの「郵袋」貸出を利用している会員さんもいらつしゃいます。

五十代の会員エミズクさんにお話をうかがうと、中学時代には点字で読める楽しい本がなく、周りの同年代が赤川次郎や新井素子を読んでいるのに文学全集などを読むしかなかったそうです。また、高校生の時にYAクラブに入会した現在三十代の会員もかさんは、書店で購入した拙作『ではいりいAge』を、祖母や地域ボランティアの「ボランティア点訳」で中学一年生の時に読んで話してくださいました。自分と同じ年齢の主人公の本、とても印象に残ったそうです。徐々に読書の環境が整い、現在はウェブ上の「サピエ」で、各地の所蔵機関の点訳とオーディオブックを調べ、蔵書を取り寄せることができます。Bともあるそうです。視覚障害でない、目で文字を読むことが困難な方については、地域図書館に申し込むと利用できる場合があります。

さて、事務局長の加藤寛子さんは、埼玉県上尾市で「おひさま文庫」という地域文庫活動もされています。YAクラブの定例会は、その「おひさま文庫」のログハウスで毎月行われています。



写真右下は盲導犬のマイケル
左はデージー図書を聞く専用機器
ポケットサイズのものもあります

「バリアフリー読書サークルYAクラブ」

ウェブサイト <http://yaclub.sakura.ne.jp>
Facebookページ <https://www.facebook.com/yaclub>